

音脈

7-9

休館のお知らせ

東京文化会館は
大規模改修のため
5月7日から休館しております
主催公演は都内各地にて
引き続き
お楽しみいただけます

Interview

リラックス・パフォーマンス

西脇将伍

「ラヴェル最期の日々」

加藤昌則 × 岩崎正裕

音楽劇「シミグダリ氏

～鉄靴の姫と麦粉の王子～」

久恒秀典 × 月影 瞳

New Column

東京文化会館
響き合う
ものがたり

東京文化会館
Tokyo Bunka Kaikan

Tokyo Bunka Kaikan

65th Anniversary



©堀田力丸

2025年度の様子



YouTube
動画は
こちら！

センサリーフレンドリーな空間をめざして

Music Program TOKYO

Workshop Workshop! コンビリアル・プロジェクト

TOKYO BUNKA KAIKAN

Relaxed Performance

リラックス・パフォーマンス

世代、障害をこえて楽しめるコンサート

今回のテーマは
～オーケストラと音楽の
動物園に出かけよう～

どなたでも安心して楽しんでいただけるよう、以下の鑑賞サポートがあります。



補助犬同伴で
入場できます。



客席の照明を
完全に暗くしません。



上演中に休憩が必要になった場合、客席の外に出て休憩できます。途中で席に戻ることもできます。



自席に戻りづらい場合や、一時的に席を移動したい場合等に座れるフリーエリアがあります。



公演の約2週間前に、プログラム(読み上げ対応あり)やご来場ガイドをウェブサイトにて公開します。



気持ちを落ち着けたい方のためのカムダウンスペースがあります。



イヤーマフの貸し出しがあります。★



フィジエットイユを用意しています。★



受付に手話通訳者がいます。舞台上にろうナビゲーターがいます。



字幕タブレットを貸し出します。◆



音を振動に変換するツール(タッチ・ザ・サウンド・ピクニック)を貸し出します。◆



補聴器や人工内耳を使用する方に、舞台上の音声をより効果的に伝えるヒアリンググループ(集団補聴システム)をご利用いただけます。ヒアリンググループ対応席：1階12～18列13～30番★



車椅子席があります。◆



点字・拡大文字・白黒反転での曲目リストを配布します。★



視覚を支援するツール(レティッサオンハンド)を貸し出します。◆

レティッサオンハンドの詳細については、製造メーカーである株式会社QDレーザの以下のサイトをご参照ください。
<https://retissa.biz/usr/onhand.html>

◆要予約の鑑賞サポート(数に限りがございます。チケットご購入時に、チケットの種類にご注意ください。)
★予約不要の鑑賞サポート(数に限りがございます。)

西脇将伍 (ろうナビゲーター)

リラックス・パフォーマンスの「リラックス (relaxed)」は“寛容な”という意味。世代、障害をこえてあらゆる人が安心して音楽を楽しめる公演について、ろうナビゲーターの西脇将伍さんにお話を伺いました。

取材・文/那須久美子 (ライター)

— 西脇さん自身のことを教えてください

今の仕事のメインは手話を生業としています。ろう者の社会を盛り上げ、あらゆる人が生きやすい社会をつくることを目指しています。舞台やメディアに出演したり、イベントや結婚式などの司会業を通して、ろう者の第一言語である日本手話で伝える活動をしています。表舞台に立つだけでなく、研修やイベントのコーディネーター、企画・運営の仕事も行っています。

— 西脇さんと東京文化会館のご縁はいつから始まりましたか？

2023年に東京文化会館の『手話による施設紹介』動画のナビゲーターを務めました。2025年には主催公演「手話でバックステージツアー！」のろうナビゲーターとして参加し、東京2025デフリンピックの文化プログラムでは、ろう者と聴者が協働しながら創作した「黙るな 動け 呼吸しろ」という舞台作品の出演者として東京文化会館の舞台を踏んでいます。2026年は「リラックス・パフォーマンス」出演の機会を得られ、ありがたく思っています。

— このリラックス・パフォーマンスにどのような魅力を感じていますか？

ろう者は音楽やオーケストラについて、まだ遠い世界だと感じています。一方で聴者 (きこえる人) の中でもコンサートが遠い世界だと思っている人がいることを知り“自分と関係ない世界”という概念をいかに壊せるか？ が大事だと思っています。ろう者にも、聴者 (きこえる人) にもこれからの音楽の新しい発見につながるのではないかと感じています。

— ろうナビゲーターとして公演に関わることに、どのような思いがありますか？

コンサートでろう者が舞台上にいることは本来考えられないことなので、ろうのお客様の観方が変わる、観てみようと思うきっかけになればと思っています。私もコンサートを楽しめるんだという発見につながるように自分も務めていきたいです。さらに、聴者 (きこえる人) にも手話と一緒に

にすすめていくやり方があることを発見していただき、一緒に公演を作り上げていくことで、あらゆる人のために音楽を高めていけるのではないかと感じています。

— どのような公演を目指していますか？

音楽には縁がない、ほど遠いと思う方も多いと思います。特にオーケストラ演奏は歌詞があるわけではないため、ろう者へ伝えるためのハードルが高いと感じています。いろいろなお客様がいるため“わからなくて困っていること”や“難しいこと”などの意見が届けやすい、伝わりやすい環境になればよいと感じています。お互いの声を届け合い、より高め合うためのパイプ役になりたいと思っています。リラックス・パフォーマンスではどのように伝えていくかを模索しています。いつの日かオーケストラ奏者にも半分ろう者がいるような環境になればいいなと願っています。

— 楽しみにしてほしいポイントは？

途中で退出してもよかったり、短い時間設定など、コンサートが初めての人でも参加しやすい様々な工夫があります。ヒアリンググループ (集団補聴システム) や振動で音を感じられるツールの貸し出しなど、鑑賞の環境整備が充実していることも魅力です。私自身がろうナビゲーターとして楽しさを届けるだけでなく、来てくれた人が自ら新しい景色や発見してもらえることを期待しています。

— 西脇さんからのメッセージをお願いします

オーケストラとは何か、音楽とは何かということをごわからせようと考えているわけではありません。みんなと一緒にリラックス・パフォーマンスを「なるほど！」と思えるような、少し身近な公演に感じられるものにできるよう、つなげていきたいと思っています。この公演に携わる人、お客様と一緒に学びたいです。

Information

日時 6月14日 (日) 15:00~16:00

会場 たましんRISURUホール (立川市市民会館) 大ホール

出演 指揮：園田隆一郎

管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団

ナビゲーター：塚本江里子

(東京文化会館ワークショップ・リーダー)

ろうナビゲーター：西脇将伍

曲目 チャイコフスキー：バレエ組曲『白鳥の湖』より 情景、ワルツ
アンダーソン：そりすべり

ロッシーニ：オペラ『ウィリアム・テル』序曲より「スイス軍の行進」

リムスキー＝コルサコフ：熊蜂の飛行

サン＝サーンス：組曲『動物の謝肉祭』より 第5曲「象」

ストラヴィンスキー：バレエ組曲『火の鳥』(1919年版)より

第5曲「魔王カステイの凶悪な踊り」

第6曲「子守歌」第7曲「終曲」

料金 指定2,200円 (車椅子席あり)

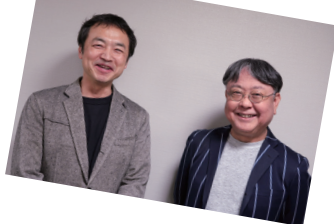
聴覚・視覚支援ツール付チケットの対象：

きこえない方、きこえにくい方、みえにくさのある方

公演詳細は
こちら



『ラヴェル最期の日々』



作編曲の加藤昌則はあるとき、晩年のラヴェルが、頭の中に音楽を溢れさせながら記譜する術を失っていったことを知り、強い衝撃を受けた。その衝撃をもとに演出の岩崎正裕と組んで制作した、音楽とダンスと演劇のコラボレーション「ラヴェル最期の日々」は2024年に初演されて好評を博し、このほど再演の運びとなった。

取材・文／萩谷由喜子（音楽評論家）

加藤昌則 ラヴェルは57歳の頃、タクシー事故に遭って、それを境に次第に音を楽譜で表すことができなくなっていきました。つまり、頭の中に鳴っている音と音符との関係がわからなくなり、音符や記号の約束事を記憶から引き出せなくなっていったんですね。僕は同じ作曲家として、楽想は浮かぶのに音符が書けなくなるということが非常にショックでした。そしてこれは演劇として構成して、ラヴェルの晩年の日々思いを寄せられるのではないかと思います、脚本と演出をお願いできる方を探して、ある方から、これまでに音楽劇を多数手がけていらした岩崎さんを紹介していただいたんです。

岩崎正裕 加藤さんと初めてお会いしたのは大阪の某珈琲店でしたね。加藤さんは大阪までいらしてくださいました。僕は関西を拠点に、これまで主に小劇場演劇の分野で活動してきたので、クラシック音楽にはまるで詳しくなく、ラヴェルの名前は知っていましたが、曲は『ボレロ』と『亡き王女のためのパヴァーヌ』くらいしか知らない程度の知識レベルでした。

加藤 それがよくったんですよ。僕が作ってきた舞台は、いわゆるクラシック音楽ファンや、精通した人を想定したものではなくて、クラシックに特別に親しんでいないごく普通のお客様に足を運んでいただけるようなものだったので、岩崎さん

のクラシック・レベルは、そのお客様層のモデルにぴったりだったんです（笑）。

岩崎 それで、加藤さんの話をうかがって、僕もラヴェルの晩年に興味を持ち、加藤さんが持ってきてくださったラヴェルが主人公の小説を読みました。その中に数行、ラヴェルの友人としてジャック・ド・ゾゲブという人物が出てくるんです。他の評伝を読んでも、この人物についての記述はほとんどなく、それならばフィクションとして、晩年ラヴェルに寄り添った人物として登場させようと思いました。記憶障害に陥ったラヴェルは、自分が若い頃に書いた『亡き王女のためのパヴァーヌ』を聴いて「なんて、素晴らしい。誰が書いたんだい」と呟いたらしいのですが、これを聞いていたのが友人ゾゲブという設定です。

加藤 僕はそれまで、『亡き王女のためのパヴァーヌ』はそれほど好きではありませんでしたが、その話を読んで、若い頃に作曲したこの曲が、晩年のラヴェルの頭の中で、自分ではない誰かが作曲した“いい

曲”として鳴っている、ということに何ともいえない切ない気持ちになり、劇の最初と最後、それからところどころに、それとわからない程度の断片をしのばせることで全体の額縁にしよう決めました。

岩崎 最初に構想を立てたとき、まず、俳優がラヴェルを演じるのは不可能だと感じました。そこで、非常に優れたダンサーの小尻健太さんにダンスで表現していただくことにしました。小尻さんにはラヴェルに扮していただきますが、台詞はなく身体表現だけです。でも、ラヴェルはたいへんお洒落だった人ですから、小尻さんのスーツとかネクタイとかにはそれを反映させました。そして、ストーリーの進行役として、俳優の西尾友樹さんをお願いしました。友人ゾゲブに扮した西尾さんが、一人でしゃべって演技をして物語を牽引します。そして加藤さんの編曲したラヴェルの音楽が様々な形で現れて、役者のように音楽も劇に参加しま

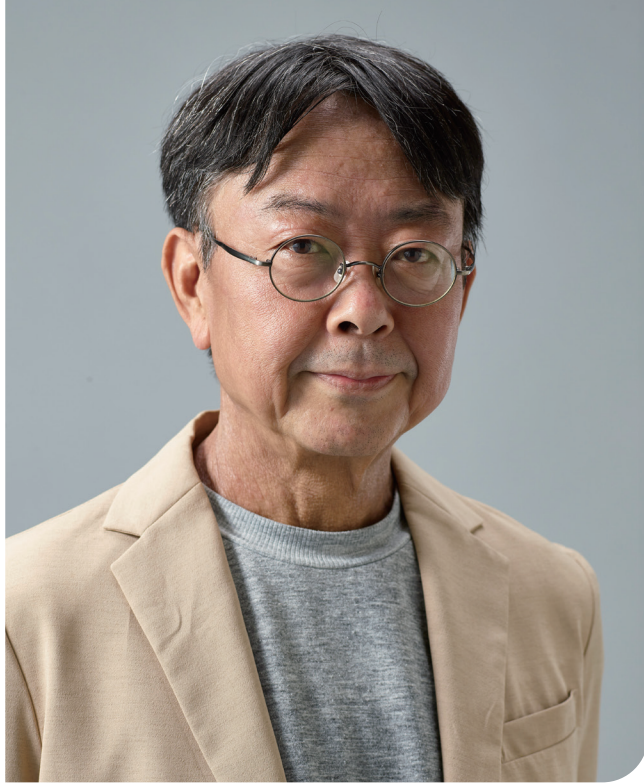


今回もこれを
多感な中学生、高校生に
ぜひ聴いていただきたい。

加藤昌則

KATO
Masanori

音楽監督・作編曲・ピアノ



これはダンスと演劇と音楽の三者による舞台作品なんです。



岩崎正裕

IWASAKI Masahiro

演出・脚本

す。ですから、これはダンスと演劇と音楽の三者による舞台作品なんです。

加藤 僕は小学生の頃、ピアノを習っていましたが、教則本はつまらなくて、自分で勝手に弾くのが好きでした。あるとき、シューマンのピアノ協奏曲を知って楽譜を買ってもらい、これを教えてください、と教室へ持って行きました。そうしたら、若い女の先生は困ってしまって、別の先生を紹介してくださいました。その先生のところへ通ううち、世の中には作曲ということがあるらしい、五線の上に音符を書いていくと曲ができるらしいが、どう書いたら曲になるんだろう、と思い、作曲を教えてくださいとお願いしました。するとその先生が、それなら専門の先生に就いたらよい、と言って紹介してくださったのが、尾高惇忠先生だったんです。小学校5年のときです。惇忠先生は、まずは一緒にピアノを弾こうとおっしゃり、ラヴェルの『マ・メール・ロフ』の「美女と野獣の対話」を連弾しながら、音楽で対話すること、表情が大切であることなどを丁寧に教えてくださいました。その教えから、音楽にもキャラクターがあることが理解できました。この作品もそのつもりで編曲しま

した。楽器編成は、ヴァイオリンとチェロとピアノ、それにバンドネオン。バンドネオンのあの郷愁をかきたてる音色、物淋しい感じがラヴェルの晩年に相応しいと思いました。今回はクラシック音楽の奏者との共演も多い北村聡さんをお願いしました。ヴァイオリンの橘和美優さんは第19回東京音楽コンクールで第2位になられた若手で、チェロの清水詩織さんは東京都交響楽団の奏者、それに僕のピアノです。橘和さんの『ツィガーヌ』は初演のとき、客席がしんとするほど聴き手を引き付けました。今回もこれを多感な中学生、高校生にぜひ聴いていただきたい。『ボレロ』の基本リズムを刻むのは、オーケストラ版のオリジナルでは小太



2023年度開催の様子(東京文化会館小ホール)

鼓ですが、僕の編曲版では思いがけない楽器が担当しますので、お楽しみに…。

岩崎 音楽と語りとのバランスですが、僕は最初、音楽が演奏されているとき、語りは控えたほうがいいかと思っていたんですが、加藤さんは、いや、全く構わない、かぶせてくれてよい、とおっしゃるので、そういう場面も多くなりました。

加藤 音楽と語りが重なったとき、そこに生まれる何かがあると思うんです。もちろん、語りが入ってきたときは音量を調節しますが。

岩崎 音楽と語りを普通にかぶせると聞ってしまうんです。でも、聞くのではなく、音楽と協調合ったとき、そこに新たな次元が生まれます。今回は新国立劇場 中劇場に場所を移しての再演なので、初演時よりも舞台の使い方、装置、照明などの条件が良くなりました。それを活かした再演に、是非、ご期待ください。

加藤 僕も再演を嬉しく思っています。コロナ禍以来、何か情報を得るにはスマホをみるのが当たり前となってしまいましたが、スマホで知識は得られても、実際に体験してみなければわからないことがたくさんあります。現場に来て体験して初めて、舞台作品のよさと味わいがわかるものです。せっかく劇場へ足を運んだのに、もしもつまらなかったら、もう二度と行かないでしょう。だから僕は、そうならない工夫をあちこちにたくさんしました。それをぜひ、受け取りにきて欲しいんです。演劇ファン、クラシック音楽ファン、ダンスファンの観客層が混ざってこの作品を好きになっていただきたい。最後まで単なる悲劇では終わらないよう、後味に配慮しています。

Information

6月27日(土)・28日(日) 14:00
新国立劇場 中劇場



曲目 ラヴェル：ボレロ／
亡き王女のためのパヴァーヌ／
『ダフニスとクロエ』／
ラ・ヴァルス 他、ラヴェルの作品より

音楽監督・作編曲・ピアノ 加藤昌則
演出・脚本 岩崎正裕

出演 振付・ダンス：小尻健太
俳優：西尾友樹
ヴァイオリン：橘和美優
*第19回東京音楽コンクール弦楽部門第2位及び聴衆賞
チェロ：清水詩織
バンドネオン：北村 聡

料金 S席5,500円 A席4,400円 B席2,200円
25歳以下(全席共通)2,200円
18歳以下(全席共通)1,100円

シアター・デビュー・プログラム

音楽劇『シミグダリ氏 ～鉄靴の姫と麦粉の王子～』《新演出》



2023年に初演され注目を集めた『シミグダリ氏または麦粉の殿』が3年ぶりに再演される。キャストやスタッフの一部が変わり『シミグダリ氏～鉄靴の姫と麦粉の王子～』とタイトルも新たに新演出。お婿さん候補の王子たちが物足りないギリシアのお姫様が、自分で麦粉をこねて理想の王子を作り上げてしまった…という奇想天外なストーリーは、冒険あり、試練あり、敵役との闘いありという予想外の展開を見せていく。小学生向けの「シアター・デビュー・プログラム」として制作された作品だが、子供たちだけでなく大人の観客も魅了した話題作だ。脚本・演出の久恒秀典さんと、王子をさらってわがものにしようとする「金の女王」を初演に続いて演じる月影瞳さんにお話を聞いた。

取材・文／小田島久恵（音楽ライター）

——『シミグダリ氏～』はほとんどの人が知らない珍しい物語を70分の舞台作品にされたことで話題を呼びました。

久恒秀典 ストーリー自体はほとんど変えていないんです。ドイツのお伽噺収集家～グリム童話のグリムさんみたいな人ですね。その方の童話集で紹介されていたものをたまたま読む機会があって、実際に読

むと4、5ページくらいのものでありますが、台詞はほとんどないので台詞を書いて、起承転結を作りました。そこに演劇的な仕草であったり、ランボーの詩の断片の引用であったり、そういうものをコラージュして、三人の演者で三人の音楽家で「3並び」で作ってみました。一人二役、一人三役もあり、ナレーターが演者になったり、無記

名な人物から演者に戻ってきたり…皆さんにはご苦労をおかけしました。

月影瞳 いえ、楽しんでいました(笑)。すごく楽しかった！私が演じた「金の女王」は、悪役というよりも、王子を取り戻そうとするイリヤ姫と同じ女性ではあるけれど、考え方が違う女性なんです。イリヤ姫は自分で理想の王子を作って愛して、奪われたら取り戻そうと必死に探して…という一途なタイプですが、金の女王は欲望の塊で、何なら好きなものは奪うぞという考え方の人。そういう女性を演じるのは面白かったですね。

——麦粉の王子が出来上がったとき、二人の女性が王子の美しさを讃えて、王子も歌舞伎の見栄を切るような掛け声をするのがとても面白かったです。

月影 やりましたね。

久恒 あれはお任せです(笑)。基本的には台本にないものも演者の方たちにやっていただきました。演技や音楽も含めて自分じゃない才能や視点が欲しいので、例えば「びじゅサイコー!(ヴィジュアル最高)」という台詞は僕からは出てこないんですよ。歌舞伎でも「おとときやがれ」「覚えているよ、この野郎」というのは実はどこにも書いていなくて「捨て台詞」という言い方をしてもいいと思うんですけど、劇場の中でのライブ感を出すために勢いやアドリブの芝居を入れていただきました。

月影 それを出すために久恒さんがワークショップをやってくださっていて。テキストをいただきまして、それをとにかくやりましたよね。ギリシア悲劇の『アンティゴネー』とかチェーホフの『かもめ』とか。3人で「はい、始めます」という稽古だったら居心地もよくないし、どこへ行ったらいいかわからなかったと思いますが、ワークショップをやる中で「自分の中にあるものは相手の中にもある



演出家として
2026年版を
再創造したいですね。

久恒秀典

HISATSUNE
Hidenori

脚本・演出

金の女王は欲望の塊。
 そういう女性を演じるのは
 面白かったです。



んだ」といった発見もあって、そのように準備したから出たものが大きかったんです。

久恒 オペラ系の人間はワークショップを経て芝居をするということがあまりなくて、「これやってください。三歩歩いてくるって回っていい声で歌ってください」という極めて合理的な演出もオペラではありますが、僕はもともと演劇の人間なので、シアター・デビュー・プログラムでは、それをミックスした形にしたかったんです。月影さんとは他の現場でも一緒にいたので、お会いしたとき「ごめんね月影さん、『嘸ませ犬』をやらせてしまって」と謝っていました。オペラ系の若者たちに、彼女を嘸ませて「あ、こういう演じ方もあるんだ」と気づかせたかったんです。

月影 気づかせるなんていう立派な立場ではなかったですし、私が学ばせていただいたことも多かったです。



—— 月影さんは金の女王以外にも、お月さまになったりお星さまになったり、太陽になったり…面白い台詞もたくさんありました。

月影 被り物をしてお芝居をしたことがないので、新鮮な感じで面白かったです。大きい被り物は扱いが大変なので角度を固定したり、小さな苦労は色々ありましたね。

—— 3年ぶりの再演はイリヤ姫に田代明さん、シミグダリ氏に大久保博史さんと歌手陣が新たになり、美術、照明、振付のスタッフも変わります。

久恒 東京文化会館の小ホールでの再演ではなくなってしまいましたから。僕自身、演出家としてほぼ再演というのはほとんどなかったんですけど、近ごろは再演ラッシュで『泣いた赤おに』も再演をやらせていただきました。

再演は少しずつ変えないとつまらないものになるし、今回は上野から渋谷になり雰囲気も変わります。会場のサイズも違いますし、小ホールの色んな雰囲気が変わります。僕らも3年経てば記憶喪失もあるし。器(会場)が違となれば、美術も変えたい。僕は大好きな演出家であるジョルジョ・ストレーレルのピッコロ座の『テンペスト』の写真を見て、アリエルが宙吊りになっているのに感動してこの仕事をやりたいと思ったんです。ストレーレルのコメディア・デラルテは、1947年から色々なヴァージョンがあって、最小ヴァージョン、幌馬車ヴァージョ

月影 瞳

TSUKI
KAGE
Hitomi

金の女王

ン、サヨナラヴァージョン、若いヴァージョンなどがあり、全部が違って、本質は同じなんです。僕の知り合いが三代目のアルレッキーノをやっているんですが、記憶を掘り起こしてもう一回削り直したものが成功していました。再演助手がプロトタイプを元に作ったものではダメなんです。

—— なるほど。歌手陣にも期待しています。

久恒 大久保君は、恐ろしいほど真面目で、演じることが喜びであるという歌手です。彼の中のまだ目覚めていない部分を刺激していこうと思っています。イリヤ姫はオーディションで決めましたが、田代さんはオペラからミュージカルの演技も全て出来る方で、色々な方向で表現できる素材だなと。月影さんにも再び演じていただくので、この「3並び」に託してみたいです。

—— 演出面でも新たな試みはありますか？

久恒 脚本は自分で書いたとはいえ、一度出来上がっているのもう脚本は知らない(笑)。今回は演出家としてアプローチするつもりです。精神を壊すような地獄

の熱い演出なのか、ライトノベルなのか落語なのか、もっとバリバリのバロックオペラなのか…まだ探しています。2026年版を再創造したいですね。

Information

8月7日(金) 19:00 / 8日(土) 14:00
 渋谷区文化総合センター大和田
 さくらホール (4F)



曲目 ベートーヴェン：ピアノ三重奏曲第1番
 変ホ長調 Op.1-1
 ハイドン：ピアノ三重奏曲ト長調 Hob.XV:25
 「ジプシー風」より 第1楽章
 新垣 隆：麦粉の歌 / ときめきの歌 /
 ガチョウ小屋の夢 / アーモンドの歌
 他

音楽監督・作編曲・ピアノ 新垣 隆

脚本・演出 久恒秀典

出演 イリヤ姫：田代 明
 シミグダリ氏：大久保博史
 金の女王：月影 瞳

ヴァイオリン：岸本萌乃加
 *第9回東京音楽コンクール弦楽部門第1位
 チェロ：加藤文枝
 *第7・8回弦楽部門第2位

料金 S席 3,300円 A席 2,200円
 小中学生(全席共通) 1,100円
 親子セット券(全席共通)
 (親1名、小学生1名) 2,200円

ミュージック・ワークショップ・フェスタ〈夏〉

7/17
金
10:00
11:30

ミーゴのまほう Vol.2

江東区豊洲文化センター レクホール(7F)

[出演] 櫻井音斗、塚本江里子、
平山佳奈(東京文化会館ワークショップ・リーダー)
[対象] 10:00~10:45 6~18か月/11:30~12:15 19~35か月
[料金] 550円

10:30
12:00

サンサン!もくもく!おてんき研究所

江東区豊洲文化センター サブ・レクホール(7F)

[出演] 島津健一、朴 優栄、
宮楠菜穂(東京文化会館ワークショップ・リーダー)
[対象] 10:30~11:15 19~35か月/12:00~12:45 6~18か月
[料金] 550円

14:30

アンサンブル喫茶へようこそ! ~本日のメニュー:モーツァルト~

江東区豊洲文化センター 豊洲シビックセンターホール(5F)

[出演] 磯野恵美、桜井しおり(東京文化会館ワークショップ・リーダー)
[対象] 50歳以上(65歳以上無料招待)
[料金] 550円

19:00

ボディ・ビート

江東区豊洲文化センター 豊洲シビックセンターホール(5F)

[出演] プルーノ・エスティマ、ジョルジュ・ケイジョ
(カーザ・ダ・ムジカ ワorkshop・リーダー)
[対象] 小学生~大人
[料金] 550円

18日
土
10:00
11:30

アイルランドの宝物

江東区豊洲文化センター サブ・レクホール(7F)

[出演] 伊原小百合、Sunny Lyla
(東京文化会館ワークショップ・リーダー)
[対象] 10:00~10:45 3~4歳/11:30~12:15 5歳~小学校低学年
[料金] 550円

10:30
12:00

シンフォニック・ジャングル

江東区豊洲文化センター レクホール(7F)

[出演] ジョアナ・アラウージョ、ティアゴ・オリヴェイラ
(カーザ・ダ・ムジカ ワorkshop・リーダー) /
櫻井音斗(東京文化会館ワークショップ・リーダー)
[対象] 10:30~11:15 5歳~小学校低学年/12:00~12:45 3~4歳
[料金] 550円

14:30

リズムカル・キッチン

江東区豊洲文化センター サブ・レクホール(7F)

[出演] ジョルジュ・ケイジョ、パウロ・ネート
(カーザ・ダ・ムジカ ワorkshop・リーダー)
[対象] 小学生~大人
[料金] 550円

19日
日
10:00
11:30

おとぎの国へ、もう一度…!

江東区豊洲文化センター レクホール(7F)

[出演] ジョアナ・アラウージョ、ティアゴ・オリヴェイラ
(カーザ・ダ・ムジカ ワorkshop・リーダー) /
宮楠菜穂(東京文化会館ワークショップ・リーダー)
[対象] 10:00~10:45 3~4歳/11:30~12:15 5歳~小学校低学年
[料金] 550円

◎掲載情報は2026年5月7日現在のものです。
◎都合により、公演内容が変更になる場合があります。
◎未就学児の入場はご遠慮ください(一部のコンサート/ワークショップを除く)。
◎料金は税込みです。

19日
木
14:30

ワークショップ・コンサート「アメリカン☆パーティー」

江東区豊洲文化センター 豊洲シビックセンターホール(5F)

[曲目] ガーシュイン:ラブソディ・イン・ブルー
ロジャース:『サウンド・オブ・ミュージック』より「私のお気に入り」
デンバー:カントリー・ロード
他
[出演] 櫻井音斗、桜井しおり、
古橋果林、山橋 司
(東京文化会館ワークショップ・
リーダー)、
石原雄介(コントラバス)
高橋浩明(サクソフォン)
[対象] 6か月~大人
[料金] 指定550円



©鈴木福蔵

20日
月・祝
10:00
11:30

ライオン・ビート

江東区豊洲文化センター レクホール(7F)

[出演] プルーノ・エスティマ、パウロ・ネート
(カーザ・ダ・ムジカ ワorkshop・リーダー) /
塚本江里子(東京文化会館ワークショップ・リーダー)
[対象] 10:00~10:45 6~18か月/11:30~12:15 19~35か月
[料金] 550円

10:30
12:00

旅するヨーロッパ Vol.3

江東区豊洲文化センター サブ・レクホール(7F)

[出演] 坂本夏樹、野口綾子(東京文化会館ワークショップ・リーダー)
[対象] 10:30~11:15 3~4歳/12:00~12:45 5歳~小学校低学年
[料金] 550円

14:00

One Day コーラス

江東区豊洲文化センター 豊洲シビックセンターホール(5F)

[出演] ジョアナ・アラウージョ、ジョルジュ・プレンドラス
(カーザ・ダ・ムジカ ワorkshop・リーダー) /
Sunny Lyla(東京文化会館ワークショップ・リーダー)
[対象] 小学生~大人
[料金] 550円

8/1日
土
11:00
12:30

東京文化会館ミュージック・ワークショップ
「おさるのミュージックラボ」

文京シビックホール 小ホール

[出演] 安念めぐみ、桜井しおり(東京文化会館ワークショップ・リーダー)
[対象] 11:00~11:45 6~18か月/12:30~13:15 19~35か月
[料金] 550円

16:00

東京文化会館ミュージック・ワークショップ
「One Day コーラス」

文京シビックホール 小ホール

[出演] 齋藤綾乃、野口綾子、朴 優栄、
Sunny Lyla(東京文化会館ワークショップ・リーダー)
[対象] 小学生~大人
[料金] 550円

2日
日
11:00
14:00

東京文化会館ミュージック・ワークショップ
「不思議なミュージアム」

文京シビックホール 小ホール

[出演] 櫻井音斗、古橋果林(東京文化会館ワークショップ・リーダー)
[対象] 11:00~11:45 4~6歳[未就学児]
[きこえない方/きこえにくい方/きこえる方] /
14:00~14:45 5歳~小学校低学年
[きこえない方/きこえにくい方/きこえる方]
[料金] 550円



6
木
14:00

上野 de クラシック Vol.120
和田華音(ピアノ)

*第23回東京音楽コンクールピアノ部門第2位



和田華音

旧東京音楽学校奏楽堂

[曲目] シューベルト=リスト: 12の歌 S558より
第12曲「アヴェ・マリア」
フォーレ: パラード 嬰へ長調 Op.19
ラヴェル: 『鏡』より 第4曲「道化師の朝の歌」 他
[料金] 指定1,100円

7
金
19:00

関連情報P6-7

シアター・デビュー・プログラム
音楽劇『シミグダリ氏〜鉄靴の姫と麦粉の王子〜』
《新演出》

渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール(4F)

[音楽監督・作編曲] 新垣 隆
[脚本・演出] 久恒秀典
[曲目] ベートーヴェン: ピアノ三重奏曲第1番 変ホ長調 Op.1-1
ハイドン: ピアノ三重奏曲ト長調 Hob.XV:25
「ジプシー風」より 第1楽章
新垣隆: 麦粉の歌/ときめきの歌/
ガチョウ小屋の夢/アーモンドの歌 他
[出演] 田代 明(イリヤ姫)
大久保惇史(シミグダリ氏)
月影 瞳(金の女王)
新垣 隆(ピアノ)
岸本萌乃加(ヴァイオリン) *第9回弦楽部門第1位
加藤文枝(チェロ) *第7・8回弦楽部門第2位
[料金] S席3,300円 A席2,200円 小中学生(全席共通)1,100円
親子セット券(全席共通)＜親1名、小学生1名＞2,200円



新垣 隆 久恒秀典 田代 明 大久保惇史



月影 瞳 岸本萌乃加 Cayane shindo 加藤文枝

11
火・祝
11:00
14:00

東京文化会館ミュージック・ワークショップ
「ムジカ・ピッコラ」

文京シビックホール 小ホール

[出演] 須藤はるな、野口綾子(東京文化会館ワークショップ・リーダー)
[対象] 11:00~11:45 3~4歳/14:00~14:45 5歳~小学校低学年
[料金] 550円

第24回東京音楽コンクール

20
木
11:00
21
金
11:00
22
土
11:00

第2次予選

すみだトリフォニーホール 小ホール

[20日] 弦楽部門
[21日] 金管部門
[22日] ピアノ部門
[出演] 第1次予選通過者
[料金] 指定1,100円

25
木
16:00
27
土
16:00
29
日
16:00

本選

東京芸術劇場 コンサートホール

[出演] 第2次予選通過者
【25日】弦楽部門
指揮: 角田鋼亮 管弦楽: 新日本フィルハーモニー交響楽団
【27日】金管部門
指揮: 鈴木織衛 管弦楽: 日本フィルハーモニー交響楽団
【29日】ピアノ部門
指揮: 山下一史 管弦楽: 東京交響楽団
[料金] 指定2,200円
25歳以下割引1,100円
65歳以上割引(上限あり)
1,980円
障害者割引
(介添え1名まで同一料金)
1,760円



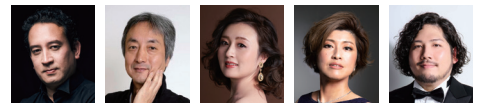
角田鋼亮 ©Makoto Kamiiya 鈴木織衛 山下一史 ©Shiro ueda

9/
20
日
15:00

ネクスト・クリエイション・プログラム
チームアップ! オペラ『アマールと夜の訪問者』

狛江エコルマホール

[日本・作曲] ジャン=カルロ・メノッティ
[指揮] 柴田真郁 [演出] 岩田達宗
[出演] 盛田麻央(アマール) *第12回声楽部門第2位
八木寿子(母親) *第9回声楽部門第1位
工藤和真(カスパール王) *第17回声楽部門第2位(最高位)及び聴衆賞
岡 昭宏(メルヒオール王) *第12回声楽部門第1位及び聴衆賞
久保田真澄(バルタザール王)
龍 進一郎(従者) *第5回声楽部門入選
羊飼いたち・村人:
コーロ・パストレ(武蔵野音楽大学学生による合唱)
コーロ・ラガッツィ(高校生合唱/ワークショップ参加者)
リトルシェパーズ(児童合唱&ダンス/ワークショップ参加児童)
高橋裕子(ピアノ)
加藤文枝(チェロ) *第8回弦楽部門第2位
福井 萌(クラリネット)
朝岡 聡(ナビゲーター)
[料金] 指定3,850円 25歳以下1,100円
*10月4日(日)15:00 たましんRISURUホール(立川市市民会館)大ホール
公演もあります



柴田真郁 ©T. Tairadate 岩田達宗 盛田麻央 ©FUKAYA Yoshinobu/auraY2 八木寿子 ©タクミジュン 工藤和真 ©FUKAYA auraY2



岡 昭宏 久保田真澄 龍 進一郎 朝岡 聡

26
土
11:00

東京文化会館ミュージック・ワークショップ
「Shall we シング?」

江東区森下文化センター 多目的ホール

[出演] 高田有香子(東京文化会館ワークショップ・リーダー) /
稲垣領子(ダンス) / 駒井ゆり子(ソプラノ) *第1回声楽部門第2位
[対象] 成人以上(65歳以上無料招待)
[料金] 550円

14:00

東京文化会館ミュージック・ワークショップ
「アンサンブル喫茶へようこそ! ~本日のメニュー: ベートーヴェン~」

江東区森下文化センター 多目的ホール

[出演] 磯野恵美、桜井しおり(東京文化会館ワークショップ・リーダー)
[対象] 小学生以上(65歳以上無料招待)
[料金] 550円

東 京文化会館が上野公園に竣工し、落成記念式典が挙行されたのは1961年4月7日のことである。現在と変わらず、この日も、上野公園に満開の

桜が咲き誇り、晴れやかな雰囲気包まれていたことだろう。当時は、敗戦から16年、日本が戦後復興の苦難に耐えて戦争の傷跡からようやく立ち直り、高度経済成長へと進み始めた時期にあたる。また、その設計を手がけ、56歳を迎えようとしていた前川國男にとっても、東京文化会館は、感慨を覚える特別な仕事だったに違いない。というのも、歴史の偶然は、はからずも、前川に、師ル・コルビュジェが設計を手がけ、2年前の1959年に竣工した国立西洋美術館の真向かいに、連歌のようなかたちで東京文化会館を建てさせる、天の采配とも言える機会を与えたからだ。しかも、西洋美術館では、同じル・コルビュジェに師事した坂倉準三と吉阪隆正とともに、実施設計に協力していたのである。前川は、戦前の1928年から2年間、彼のパリのアトリエに学んでいた。だが、時を経て、このような機会がめぐってくるなど、想像もできなかったに違いない。上野は、4歳の時から東京の本郷に育った前川にとって、幼いころから慣れ親しんだ懐かしい場所でもあった。この建築に対する前川の思いが見えてくる。

そう考えるとき、ここに掲載する西洋美術館の屋上から撮影された東京文化会館の竣工写真には、そうした歴史が生んだ建築誕生の奇跡の瞬間が写し取られていることがわかる。注目したいのは、西洋美術館との関係性である。竣工直後、前川は、次のように記している。



東京文化会館外観 撮影 渡辺義雄

第1回

師弟の連歌による公共空間の誕生

文／松隈洋

「二つのホールをだきかかえるように、大きな軒のカーブしたコンクリートの屋根がおおいかぶさっています。この軒の高さは向かいの西洋美術館の軒の高さとそろえて、その間の広場に一つのまとまったふんいきを意図しました。カーブのついた大きな軒は、人を招き寄せるような気持ちをもたせたかったためです。」(前川國男「東京文化会館をつくる」『朝日ジャーナル』1961年5月14日号)

東京文化会館の外観を特徴づける端部がカーブ状にめくれ上がったコンクリート大屋根の高さは、西洋美術館の軒高に揃えられていた。また、西洋美術館の前庭の広場と呼応するように、東京文化会館の大ホール・ホワイエの前面には、広いテラスが設けられたのである。さらに、大屋根は、太いコンクリートの柱だけで空中に持ち上げられており、建物の外周は、すべてガラス張りのスチール製の窓になっている。しかも、同じ文章に前川が記したように、大屋根の下に広がる「大小ホールをめぐる広大なホワイエ」は、「芸術を楽しむ精神状態を準備してくれる大切な場所、ここはあくまで戸外として計画」したのだ。建物を閉じるのではなく、内と外がひと続きにつながる流動的な空間構成も、ル・コルビュジェの唱えた《自由な平面》、《自由な立面》という方法の忠実な継承になっている。だからこそ、前川の記した通り、大屋根の「天井に不規則にばらまいた電灯」は「天の川」であり、床のタイルは「吹き散らされた木の葉」、「ホールの椅子の色変わりはお花畑」としてデザインされたのだろう。さらに、西洋美術館の前庭にランダムに刻まれた床の目地のラインを、そのままホワイエのスチール製窓の縦のラインに延長して、連続性を持たせる工夫も施されている。また、大小ホールを覆う大理石を打込んだ外壁のコンクリート版も、西洋美術館の青石を埋め込んだ外壁と呼応する。

こうして、前川は、ル・コルビュジェの蒔いた一粒の種を発展させ、対話を繰り返しながら、より豊かな公共空間の創出をめざしたのである。同じ文章は、次の言葉で結ばれていた。

「一つのテラスは西洋美術館、一つのテラスは芸術院会館、そしてこの三つの建物が上野の一角に、都民の文化センターとして育つか育たないか、みなさんのご協力を期待する次第です。」

こうした願いをもって前川が東京文化会館に込めたものが、この写真から伝わってくる。

まつくま ひろし ● 1957年兵庫県生まれ。1980年京都大学工学部建築学科卒業、前川國男建築設計事務所入所。2000年京都工芸繊維大学助教授、2008年同教授、2023年4月から神奈川大学教授、京都工芸繊維大学名誉教授。工学博士(東京大学)。専門は近代建築史、建築設計論。近著「未刊の建築 前川國男論・戦後編」(みすず書房 2024)により 第79回毎日出版文化賞(人文・社会部門)、第76回芸術選奨文部科学大臣賞(評論部門)、日本建築学会著作賞を受賞。



MUSIC LIBRARY

音楽資料室より

音楽資料室は、東京文化会館4階にある音楽専門の図書館です。クラシック音楽を中心とした資料や東京文化会館公演プログラムを所蔵しており、無料で閲覧できます。[4月1日より休室中]



お知らせはこちらから

移転先での開室のご案内

音楽資料室は、2026年夏以降に下記《移転先》にて開室する予定です。

開室日及びその他詳細につきましては、決まり次第ホームページでお知らせいたします。

移転先

- 所在地
〒135-0064
東京都江東区青海2-4-24
青海フロンティアビル 3階
- 電話番号
03-5579-6446(代)
- アクセス
・ ゆりかもめ「テレコムセンター」駅 直結
・ 都営バス「テレコムセンター駅前」下車

移転先での利用について

- 開室時間
木・金曜 11:30～18:30 ※祝日と重なる場合17:00まで
土 曜 11:30～17:00
- 休室日
上記以外の曜日、特別整理期間、年末年始、ビルの休館日
- 利用方法
閲覧席・視聴席の数が少ないため、事前にご予約ください。
予約のない場合、混雑状況により利用をお断りする場合があります。
予約方法については、順次ホームページでお知らせいたします。

東京都交響楽団 主催公演のご案内

東京文化会館休館中は、東京芸術劇場にて開催します。



第1048回定期演奏会Aシリーズ



スザンナ・マルッキ
©Jiyang Chen

ジョン・レリエ
©Shirley SuarezPICCOLA

シルヴィア・ヴェレシュ
©Raffay Zsofia

Information

2026年7月18日(土) 14:00開演(13:00開場)

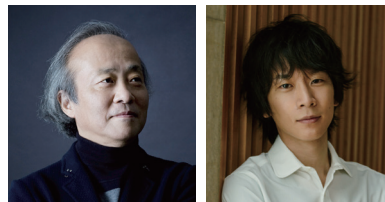
会場 東京芸術劇場コンサートホール

出演 指揮/スザンナ・マルッキ
バス/ジョン・レリエ* メゾソプラノ/シルヴィア・ヴェレシュ*

曲目 デュカス：歌劇『アリアーヌと青ひげ』第3幕への前奏曲
ドビュッシー：《夜想曲》より「雲」「祭」
バルトーク：歌劇『青ひげの城』Sz.48
(演奏会形式/日本語字幕付)*

料金 S席¥8,000 A席¥7,000 B席¥6,000
C席¥5,000 Ex席¥3,500 ※各種割引あり

第1049回定期演奏会Aシリーズ



尾高忠明
©Martin Richardson

北村朋幹
©TAKA MAYUMI

Information

2026年8月8日(土) 14:00開演(13:00開場)

会場 東京芸術劇場コンサートホール

出演 指揮/尾高忠明
ピアノ/北村朋幹

曲目 三善 晃：オーケストラのための《ノエシス》(1978)
松村禎三：ピアノ協奏曲第2番(1978)
エルガー：エニグマ変奏曲 op.36

料金 S席¥7,500 A席¥6,500 B席¥5,500
C席¥4,500 Ex席¥3,200 ※各種割引あり

ご予約・お問い合わせ

都響ガイド(月-金:10時~18時/土日祝休み)

0570-056-057

※主催公演開催日等は休業または営業時間が変更となります。

都響WEBチケット

<https://www.tmso.or.jp>

※インターネットで席を選んで購入できます。

公演中止及び出演者・曲目等が変更になる場合があります。最新の情報は都響ホームページをご確認ください。



「いつ来ても、おいしい」をこれからも

明治5年の創業以来

歴代の料理長に受け継がれ、

磨き続けられる確かな味と技。

時代を超えて変わらない

心づくしのおもてなし。

これからもお客様への感謝の心を

おいしさに込めて、

「よりよき内容 よりよきサービス」を

モットーに、進化し続けてまいります。

上野精養軒 総料理長

君島 祐樹

上野精養軒本店 グリル（フレンチ）



TEL : 03(3821)2180

東京都台東区上野公園 4-58

上野精養軒本店 レストラン（洋食）



TEL : 03(3821)2183

国立科学博物館店
レストラン ムーセイオン
地球館 2階



東京都台東区上野公園 7-20 TEL : 03(3827)2080

東京都美術館店
レストラン ミューズ
東京都美術館 2階



東京都台東区上野公園 8-36 TEL : 03(5832)5551

パートさん
アルバイトさん
スタッフ募集中!



上野精養軒

上野公園内不忍池畔

ご婚礼・ご宴会・レストラン

<https://www.seiyoken.co.jp/>



じぶんの好きと
住むマンション。

LIVWIZ



SALON HALL

SOUNDPROOF ROOM

PLAY

音楽と住もう。

サロンホール設置 | 全住戸防音仕様



思いを、はせる。
長谷エグループ

お問い合わせ
play@haseko.co.jp
貸主:長谷工総合開発



※掲載の写真はPLAY江古田にて撮影されたものです。

地元応援団 +朝日。



pannapitta

朝日信金イメージキャラクター「パンナピッタ」 © '22 SANRIO APPR No. L622280



街の鼓動に敏感です

朝日信用金庫

東京文化会館オフィシャル・パートナー

当館の主催事業は、次の企業の皆様からのご支援をいただき実施しています。



五野精養軒



長谷エグループ



朝日信用金庫

旭鉦末グループ 株式会社NHKアート 株式会社國光 サントリーパブリシティサービス株式会社
 JP東京特選会株式会社 新生ビルテクノ株式会社 スタインウェイ・ジャパン株式会社
 日本化学産業株式会社 日本電設工業株式会社
 株式会社フジ・メディア・ホールディングス 株式会社前川建築設計事務所

五十音順 (2026年4月1日現在)

ご支援のお願い

当館の主催事業をさらに充実強化するため、皆様からのご支援をお願い申し上げます。

主に個人様向け 賛助会員 会費(年額)一口2万円

※寄付金に対する税制上の優遇措置を受けることができます。

- 会員期間中、下記の発行物をお届けいたします。
 - ・東京文化会館情報誌「音脈」(年4回発行)
 - ・東京文化会館「アニュアルレポート」(年1回年度末発行)
- 会員期間中、主催事業の稽古見学へご案内いたします。(複数回)



詳細はこちら



©堀田力丸

法人・団体様向け オフィシャル・パートナー

協賛金(年額)一口30万円

これからの東京文化会館とともに創り育てていくパートナーとして
 法人・団体様向けの協賛制度をご用意しております。ぜひご検討ください。



詳細はこちら



©T.Fairdate

アクセシビリティの取組レポート

東京文化会館では、誰もがいつでも、使いやすく、楽しめる音楽ホール(劇場)を目指し、全スタッフが力を合わせて、アクセシビリティ向上に取り組んでいます。2025年度は大ホールの形状を触って体感できる模型である触察模型を作成したり、アクセシビリティの取組を紹介するチラシ・広報物の作成、ウェブサイトの情報を充実させました。これらの取り組みはアニュアルレポートでもご覧いただけます。

大ホール触察模型

大ホールの形状を触って体感できる模型です。客席の約1/70の模型です。



やさしい日本語ページ

ウェブサイトのアクセシビリティ情報は、日本語を学び始めたばかりの人(外国人など)にもわかるように簡単にした「やさしい日本語」でも提供しています。



透明ディスプレイ

音声をリアルタイムに文字へ変換し、透明ディスプレイに音声字幕・翻訳(多言語)を映して、スタッフとコミュニケーションをとれます。17言語で対応できます。



アクセシビリティチラシ



東京文化会館
アクセシビリティ
情報は
こちら！



アニュアル
レポートは
こちら！

会館からのお知らせ

東京文化会館休館に伴う 事務所移転のお知らせ

東京文化会館は、大規模改修工事のため休館(2026年5月7日~2028年度中)いたします。
それに伴い、2026年6月より事務所を移転いたします。

東京文化会館
事務所移転先

〒135-0064 東京都江東区青海2-4-24 青海フロンティアビル 8階
(最寄駅：ゆりかもめ「テレコムセンター」駅 直結)
電話番号：03-5579-6446 ※2026年6月8日より開通予定です。

ご不便をおかけいたしますが、何卒よろしくお願いいたします。

東京文化会館情報誌 [オンミヤク]

音脈

Vol.103
2026
Summer

令和8年5月30日発行 (年4回発行)

発行

東京文化会館 (公益財団法人東京都歴史文化財団)

X @tbunka_official

f @TokyoBunkaKaikan

i tokyobunkakaikan



t-bunka.jp

企画・編集

東京文化会館 広報担当

デザイン

株式会社ファントムグラフィックス

印刷・製本

日経印刷株式会社

チケット

東京文化会館チケットサービス

03-5962-1788 (6/8から年末年始等を除く10:00~18:00)

t-bunka.jp/tickets/

- 東京芸術劇場ボックスオフィス geigeki.jp/t/0570-010-296 (休館日を除く10:00~19:00)
- チケットぴあ t.pia.jp
- イープラス eplus.jp/t-bunka/
- ローソンチケット l-tike.com

※公演により取扱いのないプレイガイドもございます。

休館情報

東京文化会館は令和8年5月7日から令和10年度中(予定)まで大規模改修工事のため休館中です。休館中も都内各地で主催事業を開催しています。詳細につきましては、ウェブサイトやSNS等で随時お知らせしております。

